

『こんな教師で在りたい！』

小さい頃、お勉強はあまり得意ではなかったのですが、学校も友達も、先生も大好きな子供でした。勿論、喧嘩したり、叱られたりといろいろありながらも、「学校って楽しいな。」「いつも側に居てくれる先生も楽しそう。」「先生に成りたいなあ。」という想いを抱くようになりました。試験は何度も受けましたが、何とか採用され、念願の教師として子供たちの前に

立てる喜びと、担任することになった子供たちを預かる責任を感じたことを思い出します。その日からの教員生活で、思うようにいかないことや悩んだこともありましたが、この道を選んだことに後悔したことは一度もありません。子供たちの成長や活躍の瞬間に立ち会うことができたり、喜びや悲しみを共有できたりと、教師としての喜びとやりがいを感じる機会が多かったからです。多分、子供たちの可能性を信じ、「どがんばらして支えたい！伸ばしたい！」「その子らしく、輝いてほしい！」・・・そんな私の想いに、子供たちも応えてくれたのではないかと想像します。

きっと、日本全国の教職員の多くが、「目の前の子供たちのために！」と、職務や責任を全うしようと励んでいるはずですが、ところが、教職員による不祥事が相次ぐ状況に、「うちの子供は・・・、大草小学校は大丈夫だろうか？」と心配されている方もいらっしゃるかも知れません。もしかしたら、子供たちの中にも不安を抱えている子が居るかも知れません。

そこで、今月初旬に「服務規律委員会」を開き、不祥事根絶に向けた研修を行いました。予定の時間を超過するほどの協議でしたが、更なる研修の必要性和「大草小から不祥事を起こさせない！」というチーム創りの重要性を痛感しました。これからも、上に示す「目指す教師像」の実現に向けて、28名の大草っ子のために教職員一丸となり研鑽と実践を積み重ねて参ります。※研修・協議の詳細は、2枚目の「服務研修のまとめ」を御覧ください。



【校内研究とは・・・】

一昨日、2年生で研究授業を実施しました。子供たち6人と授業者(担任:岩永教諭)の7人に対して、観に来る先生方は8人、加えて諫早市教委からも、鶴殿参事補(2年前の本校の教頭先生)をお招きしておりましたので、計9人の参観者の中での授業でした。担任岩永の問いに対して、必死に考え、答えにたどり着こうとする子供たち。懸命に子供たちのつぶやきを拾い上げ、答えにたどり着かせようとする担任の姿・・・。普段と違う環境での学習活動でしたが、随所に2年生らしさ(元気一杯・笑顔一杯)を発揮しながらの45分間。子供も大人もキラッと輝く時間と空間でした。

さて、この「研究授業」ですが・・・、皆様方も若い頃に経験があるのではないかと思います。基本的にどの学校でも、主題(テーマ)を設定して「校内研究」を実施しております。本校の主題は「主体的に生き生きと学び合う子供の育成」です。この主題に迫るために、「研究主任」である馬場教諭をリーダーとして、授業という実践を通して研究を進めています。子供たちの学力向上は勿論ですが、我々の教師としての技量を高めることも大きな狙いの一つです。ですから、今回も、子供たちの下校後に「実際の授業」における「教師の働きかけ」と「子供の姿」を振り返り所として、「子供たちは、生き生きと活動していた。」「指導の手立てとして、ああすれば、もっと良かった」等々、協議をしたり、鶴殿先生から専門的な指導助言をいただいたりしました。私は、常々「教師は研究家でなく、実践家でなければならない！」と考えております。今後も、主題の実現を目指して、実践を通じた研究を重ねていきたいと思っております。



【夏休みに入ります】

4月からこれまでに、子供たちがキラッと輝く様子、そして、周りの大人も輝く様子をたくさん目の当たりにしました。やっぱり、「先生って素敵な仕事だなあ。」と思えます。さて、19日から夏休みです。8月9日の登校日に、「元気一杯の大草っ子」に会えることを楽しみにしています。



昨日、1学期最後の「大草太鼓」の練習をしました。夏祭りでの発表も、乞う御期待!!